

「1.17 阪神・淡路大震災を風化させない取組み」開催

関西支部

「阪神・淡路大震災」20年目を迎え、当時の震災を振り返った災害対策の重要性と復旧に向けた活動、また東日本大震災における復旧対応について、NTT西日本グループ、および通信建設会社の現役社員へ伝えるための講演会がNTT西日本 関西事業本部主催（ITEA関西支部協力）で去る1月20日（火）に兵庫県神戸市中央区の「三宮研修センター」にて開催されました。（参加者数：NTTグループ162名、ITEA会員会社53名）

講演会は、NTT西日本 関西事業本部 太田本部長様（写真1）およびITEA関西支部 高江洲支部長（写

真2）が開会挨拶に立たれ、始まりました。

講演は、(株)ミライト・テクノロジーズの葦田 正和氏（元阪神復興臨時建設事務所 次長）（写真3）が「阪神・淡路大震災から20年～日本の情報通信を担うリーディングカンパニーの役割～」をテーマに、続いてNTT東日本 東北復興推進室 次長の大塚 健太様（写真4）が「復興に取り組み続ける～東日本大震災からの復旧・復興～」をテーマに行われました（写真5）。

講演内容は、地図や写真を中心に震災の被害の甚大さ、劣悪な環境でのひたむきな復旧の様子、現在の復

興後（あるいは復旧中）の状況が生々しく伝わってくる印象深いものでした。最後に兵庫支店 鈴木支店長様（写真6）のご挨拶で閉会となりました。

また、NTT神戸中央ビル1階において下記のパネル・災害対策機器の展示が行われました。

- ①阪神淡路大震災の被災状況と復興（写真7）
- ②東日本大震災の被災状況と復興（写真8）
- ③災害対策機器の紹介（写真9）
- ④災害対策車両の紹介（写真10）



写真1 NTT西日本
太田関西事業本部長様



写真2 ITEA 高江洲関西支部長



写真3 (株)ミライト・テクノロジーズ 葦田 正和氏



写真4 NTT 東日本 大塚東北復興推進室 次長様



写真5 講演会全景



写真6 NTT西日本 鈴木兵庫支店長様



写真7 阪神・淡路大震災被災状況



写真8 東日本大震災被災状況



写真9 災害対策関連機器



写真10 災害対策車両